

2017

社会・環境報告書

SOCIAL AND ENVIRONMENTAL REPORT

表紙のイラストについて

表紙作品は、障がい者芸術ライブラリーであるアートビリティの登録アーティスト、大谷絵美さんの作品「ペンギン」です。

アートビリティは、1986年に社会福祉法人東京コロニーが障がい者アーティストの経済的な支援を目的として設立したアートギャラリー。作品使用料の60%が作家に還元されます。

大谷絵美 (おおたにえみ)

1991年生まれ。大阪府在住。

障がいのある子どもたちの絵画コンクール、「第5回、第6回キラキラとアートコンクール」で優秀賞を受賞後、アートビリティの登録作家となる。以後、さまざまなメディアで活躍中。

2007年 アートビリティ初登録。第92回二科大阪展入選。

2008年 産経はばたけアートフェスタ2008入選。

第20回アートビリティ大賞・アサヒビール奨励賞受賞。

2011年 2011年度「コラボ・アート21」入選。

2013年 「アジア・パラアート展」パラアート賞受賞。

色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人が見やすいような表示を配慮しました。



この報告書は、適切に管理された森林から切り出された木を原料とするFSC®認証紙を使用し、環境に配慮した「植物油インキ」と有害な廃液を出さない「水なし印刷」を採用しています。

お問い合わせ先

綜研化学株式会社

総務人事部、安全・環境・品質保証室

〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号

TEL:03-3983-3171 FAX:03-3988-9216

URL:<http://www.soken-ce.co.jp>

本報告書に関するご意見ご感想をお聞かせください。皆さまから寄せられたご意見を今後に反映し、さらに内容の充実を図ってまいります。

▶HPから <http://www.soken-ce.co.jp/contact/form.php> (総合お問い合わせフォームをご利用ください) ▶FAX:03-3988-9216



はじめに

当社グループは、事業活動において地球温暖化防止と資源循環に積極的に取り組む環境経営を進めています。同時に企業としての社会的責任を担うべく社会貢献に努め、法令遵守はもとより、内部統制システムを充実させ、社会の公器にふさわしい企業体質を構築しています。

本報告書では、ステークホルダーの皆さまへ、その進捗状況についてご報告するとともに、当社グループの活動をご理解いただくことを目指して、財務報告以外の情報について掲載しています。今後とも、事業活動を通して企業としての社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

対象範囲と期間

本報告書は、当社グループ国内事業拠点（綜研化学、綜研テクニクス）の活動状況を中心に掲載しており、一部、海外グループ会社の取り組みも紹介しています。
実績および取り組み内容は、2016年度（2016年4月1日～2017年3月31日まで）を対象とし、組織・体制などは2017年4月1日現在のものを掲載しています。

ガイドライン

本報告書の作成にあたっては、環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」を参考にしています。

経営理念

- 一、 私たちは常に誠実であるとともに創造と工夫に情熱と責任を持って挑戦しつづけます
- 一、 地球環境の保全を指向しつつ社会に役立つ革新的製品を提供します
- 一、 お客様には心からの満足を株主の方々には共感をそして私たちは働く喜びを実現していくことに最善を尽くします

INDEX

はじめに 経営理念・会社概要.....	02
綜研化学の製品とサービス.....	03
トップメッセージ.....	04-05
従業員の活躍を支える 綜研化学グループの取り組み.....	06-09
経営情報.....	10-11
コーポレート・ガバナンス.....	10-11
社会的側面.....	12-16
株主・投資家の皆さまとともに.....	12
お客様・お取引先の皆さまとともに.....	13
従業員とともに.....	14-15
地域の皆さまとともに.....	16
環境的側面.....	17-22
環境負荷低減のために.....	17
環境単年度計画.....	18
環境マネジメントシステム.....	19
環境配慮型製品売上高比率向上の推進.....	20
化学物質による汚染防止および環境リスクの低減.....	20
地球温暖化防止の推進.....	21
事業所データ.....	22
サイトレポート.....	23

会社概要

社 名：綜研化学株式会社
Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.
創 立：1948年9月2日
所 在 地：〒171-8531
東京都豊島区高田三丁目29番5号
事業所・関連会社
(国内) 狭山事業所・浜岡事業所
綜研テクニクス株式会社
(海外) 綜研化学(蘇州)有限公司
寧波綜研化学有限公司
綜研化学アジア株式会社
綜研高新材料(南京)有限公司
盤錦遼河綜研化学有限公司(持分法適用関連会社)
資本金：33億6,156万円
株 式：東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
(コードNo.4972)
売 上 高：単体152億円(2017年3月期)
従 業 員：単体354名(2017年3月31日現在)

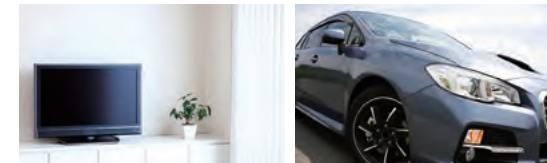
技術を通して 綜研化学の製品とサービス 社会に貢献する

粘着剤

独自の高分子重合技術や評価・分析技術を用いて開発したアクリル系粘着剤は、300種類以上あり、液晶テレビ、自動車、家電、建材など、幅広い産業分野で使用されています。

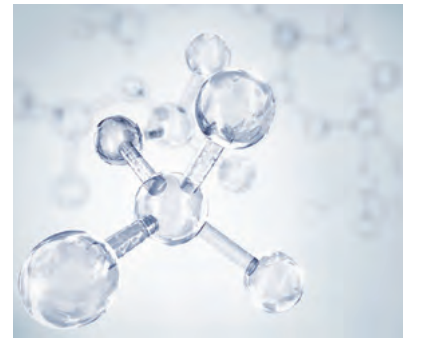


用途例(液晶テレビ・自動車など)

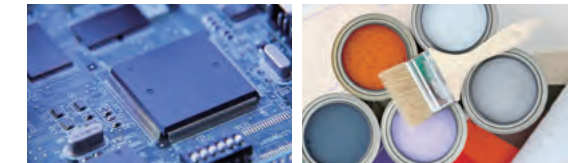


特殊機能材

さまざまな工業材料に新たな機能を付与する特殊機能材は、電子基板材料や塗料・インクなど幅広い分野で使用され、環境負荷低減に対応した製品開発も行なっています。



用途例(電子基板材料・塗料など)



微粉体

独自の重合技術により開発された機能性微粒子である微粉体は、粒径によってさまざまな特性を持ち、複合機のトナーや化粧品などに用いられています。



用途例(トナー・化粧品など)



加工製品

粘着剤技術と塗工技術の強みを活かした加工製品は、ガラスや金属の表面保護から光学・電子部品加工用、金属接合まで、幅広く使用されています。

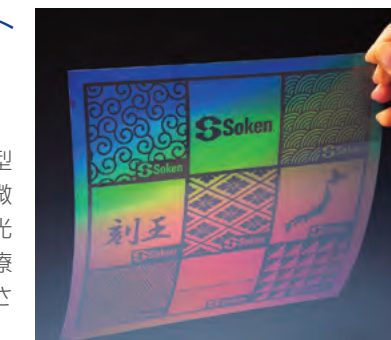


用途例(保護フィルム・家電など)



ナノインプリント モールド ソリューション

樹脂および金属の金型(モールド)を用いた表面微細加工技術であり、今後、光学・エレクトロニクス・医療などの分野で応用が期待されています。



用途例(超撥水フィルムなど)



装置・システム

(綜研テクニクス株式会社が提供しています)

プラントエンジニアリングを中心に、熱媒体の販売や各種メンテナンスなどを組み合わせ、システム化した製品・サービスを提供しています。



独自の技術による事業活動を通して、 豊かな社会の実現に貢献します。

当社グループは、「小なりとも最優の会社となって社会に貢献しよう」という創業の精神のもと、事業活動を展開してきました。そこには、一人ができることは限られていても、一人ひとりが活かされて価値を見出し、力を結集することで大きな成果が生まれ、社会に貢献できる、という思いが込められているのではないかと考えています。事業活動のあらゆる場面において、当社グループではこの精神を常に意識し、さまざまな製品・サービスを通じて豊かな社会の実現に寄与できるよう努めています。

多様な技術を融合し、確実な実績を残す3年へ

2016年度は中期経営計画『New Value-2016』の最終年度として、「グループ総力を発揮して技術の組み合わせによる新たな価値を創造する」を目標に活動しました。大きな成果としては、部門間の連携が挙げられます。ワーキンググループやクロスファンクショナルチームを立ち上げるなど、さまざまな問題、課題を共有化して解決に当たり、部門間の交流はより積極的になり、その結果、相互理解という意識も高まりました。

新中期経営計画『New Value 2019』では、3年後に売上高300億円超という数値目標を設定しています。まずはこれを達成し、次なる目標を策定していきます。これまでの5年間で海外に対しての積極的な設備投資や新規事業の開発投資を行ってきましたが、これからの3年間はそれらを活かし、実績に繋げる期間だと考えています。

開発機能を強化し、パートナーとより緊密に

当社グループの売上高に対する研究開発費の比率は高く、従業員の半数以上が研究者あるいは技術者です。2017年度には、その強みをさらに活かしていくために研究開発センターのもとで将来を見据えた開発を進めています。また、中国での開発機能をより一層強化して、現地での市場ニーズに即した製品・サービスを提供していくとともに、10年先20年先の成長に向けた新たな技術の創出にも注力していきます。

サプライヤー様をはじめとしたパートナーとの緊密な関係も当社グループの強みの一つです。より良い関

係があつてこそ事業の継続性が実現できます。これからは当社グループ一丸となってより強固な信頼関係の構築に努めてまいります。

成果と充実感を引き出し、働く喜びの実現へ

事業活動における安全性に関しては、まず自身が安全であるということが担保できてこそ、近隣地域に対して安心していただけるものと考えています。安全は安心を生み出すための第一歩と捉え、従業員の安全の確保、地域の皆さまへの安心の提供に取り組んでまいります。さらに、働き方改革については、従業員と会社側双方が合意して進めていかなければならない重要な課題と考えます。一人ひとりが働きやすい環境を整えることは大切ですが、就業時間の中でメリハリを持って働き、成果を出し、充実感を得ることが、経営理念に示す「働く喜びの実現」にも繋がっていくものと考えます。

また、地域との交流では、従業員が国内外でさまざまな活動を行っており、特に中国の寧波市におけるボランティア活動は高い注目を集めています。こうした活動

が特別なものではなく、暮らしの中の日常的な行動として根付いていくよう、積極的に支援し、地域の皆さまとの共生にも努めてまいります。

技術集団として創業以来培ってきた技術力を活かし、革新的な製品・サービスを提供し続けることが、当社グループにとって企業として果たすべき責任であり、創業の精神そのものであると考えます。来年、創業70周年を迎えますが、あくまで100年、200年と続くための通過点にしかなりません。まず2017年度は新中期経営計画の初年度として、その目標を達成することが重要であると考えています。そしてこれまで通り、一年一年確実に目の前の課題をクリアして、まずは100年に繋げていくための重要な一年だと考えています。

長期ビジョンとして掲げている「なくてはならない企業」であるために、一人ひとりが「なくてはならない人」となり、企業の価値を向上させるよう創意工夫を持ち、皆さまのご期待に応えるべく努力してまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

逢坂紀行

特集

従業員の活躍を支える
綜研化学グループの取り組み

当社グループでは従業員が活躍できるようにさまざまな制度を設けるほか、会社が所在する国や地域の慣習に応じた独自の制度も整備しています。今回は、従業員を支えるグループ会社の制度や取り組みの一部をご紹介します。



経営理念に定める
「働く喜び」の実現のために

綜研化学では、従業員一人ひとりが活躍できるような支援制度を充実させるほか、自らの能力を積極的に伸ばすことができる環境も整えています。今回は、実際に仕事と家庭を両立させている従業員に、綜研化学の取り組みについて語っていただきました。

昔から仕事と家庭の両立はしやすい風土

妻：私は社内で2人目の産休・育児休業等の利用者であり、また育児短時間勤務については初めての利用者でした。当時は会社側も積極的に意見を聞いてくれたので、綜研化学のワークライフバランスを作る良いきっかけになったのではと思っています。今は、子どものことで急に休む可能性を想定し、周りの方々とコミュニケーションを取りながら、上手く両立できるようにしています。

夫：私もフレックスタイム制度を利用して積極的に子どもの面倒をみています。妻だけに負担がかからないように家事の共有のほか、看護休暇なども利用してお互いのキャリアの妨げにならないように工夫してきました。綜研化学は誰でも仕事と家庭の両立がしやすいのではないかと思います。



会社からの評価は士気向上に繋がる

夫：ある日、上司から昇格の推薦をいただき管理職になりました。上位者として悩むこともありますが、以前より仕事を楽しんでいることが多くなりました。他にも職務チャレンジ申告もあるので、仕事のモチベーション向上に繋がります。

妻：管理職への推薦は2度ほどあったのですが、その時は自分のキャリアよりも家庭のことを優先にしたかったので断っていました。その後、子どもがある程度自立できるようになった際に、考課面接で上司に自ら昇格の申請をしました。育児休業制度を利用して、ちゃんと従業員のキャリアアップを支えてくれるのでとてもありがたいです。

自分たちの経験を会社の価値向上に繋げたい

夫：業務では、携わっている設備の新たな補修技術を開発したいです。あとは将来孫の顔を見るまで健康でいられるように、家族でスキーを楽しみたいです。

妻：これまでの自分の経験を活かして、綜研化学が“育児休業を取得した社員でもキャリアアップできる会社”となるための一助になりたいと考えています。男女関係なく働き続けられることが普通になるような仕組みづくりができればいいなと思います。

夫：綜研テクノニクス株式会社 出向 装置システム部 設備診断チーム 坂下 隆司
妻：綜研化学株式会社 加工製品部 坂下 雅代



こんなに違う！～各国・地域の慣習～

	日本	中国	タイ
家族構成・子ども	共働きで子どもは保育園へ預ける	共働きで子どもは祖父母が世話をする	
女性の職場復帰	待機児童問題など、仕事と家庭の両立には課題が多い	出産後1年未満で職場復帰することが多い	
定年制度	60歳(再雇用制度あり)	男性60歳、女性55歳	55歳

中国・タイ独自の福利厚生

- 出退勤の際には会社からの送迎バスを利用できる。
- 時代に先んじて自動販売機を導入、会社の補助により安く購入できる。
- 誕生日などのお祝いごとには、ケーキ券や祝金などを贈呈。
- 毎年、社員旅行や新年会・忘年会・運動会などを実施。

など

綜研化学(日本)

- 雇用** 育児休業
1歳もしくは1歳6カ月までの子を対象に取得可能であり、女性だけでなく男性も取得しています。
- 福利厚生** 育児短時間勤務
3歳に満たない子を養育する従業員は、1日の勤務時間を6時間に短縮できます。
- 雇用** フレックスタイム制(コアタイムあり)
1日の所定労働時間を7.5時間とし、始業と終業時刻を従業員に委ねています。

- 福利厚生** 看護休暇
法定より対象期間が長く、小学校卒業前の子を養育する従業員は、半日単位で休暇が認められています。
- 雇用** 職務チャレンジ申告
年に1回、職務やコース変更の申告ができ、従業員の仕事への意志確認をしています。
- 雇用** 考課面接
従業員の仕事を公平・公正に評価するため、年に2回上司と面接しています。

綜研化学（蘇州）

蘇州工業園区の模範工場として、従業員の安全・環境に関する勉強会を実施し、スキルアップを図るとともに、全社員で企業価値向上に向けて積極的に取り組んでいます。

中国グループ会社と日本で安全と環境について意見交換

綜研化学（蘇州）と寧波綜研化学、綜研高新材料（南京）、さらに日本の安全・環境・品質保証室が合同で、安全・環境について意見交換をする“SK-China”という交流会を実施しています。2016年度は浜岡事業所などの工場見学と安全対策について研修を行ない、危険作業について勉強しました。この交流会で学んだことを自社の安全対策に活かしていきます。

韓冬冬



日本と合同会議を開催

日中の研究者・技術者は定期的に会議を実施し、情報交換をしています。対象外の従業員も会議を見学でき、スキルアップを支援しています。



教育

規程や制度の改訂

従業員の職場環境向上のため、毎年規程や制度の見直しを実施しています。

終業時刻の繰り上げ

帰宅ラッシュを回避するため、従業員からの希望により昼休憩を30分に短縮し、終業時刻を繰り上げました。

雇用

雇用

制服を導入

全女性従業員の要望により、事務用の制服を導入し、就業意識を高めています。

植樹活動

「緑豊かな化学工場」を目指す従業員による緑化運動が盛んです。桜、ビワなどを植樹し、工場内を明るく和やかにしています。

福利厚生

その他

寧波綜研化学

創立22周年を迎え、勤続20年以上の従業員が多数在籍しています。ボランティア活動が盛んで、清掃活動や募金活動などへ積極的に取り組んでいます。

お母さんの愛の部屋

育児と仕事の両立を支援するため、搾乳室を設置しました。以前は、トイレで搾乳していたのですが、プライベートな部屋を設置したことで、衛生的にも安心して搾乳できるようになりました。室内には、母乳保管用の冷蔵庫や消毒ティッシュなど必要な備品を揃えており、従業員の満足度はもちろん、仕事の効率の向上にも繋がっています。

李依群



搾乳室を設置

産後休暇からの復帰が早い女性従業員からの要望で搾乳室を設置し、子育てを支援しています。



福利厚生

役職定年制度

製造現場などでは、従業員の重労働に配慮して役職に定年を設け、若手社員の昇給へのモチベーション向上にも繋がっています。

5S成果発表会

綜研化学（蘇州）と合同で5S成果発表会を開催し、5S意識の向上を図っています。

雇用

教育

製造部門内の表彰

全社的な表彰に加え、製造部門では3カ月に1度表彰を実施し、従業員のスキルアップを評価しています。

新入社員との懇親会

入社時に、新入社員と管理職との懇親会を開催し、交流を深めています。

表彰

その他

綜研化学アジア

タイにある綜研化学アジアでは、従業員が安心して働けるよう、福利厚生の充実に努めています。

男性は一生に一度は出家する

「出家休暇制度」を活用し、30日間出家をしました。タイでは、国民のほとんどが敬虔な仏教徒で、男性は一生に一度は出家し、仏門に入る慣例があります。この制度のおかげで、私もタンブン（徳を積むこと）ができ、一人前の仏教徒になることができました。会社の「出家休暇制度」に感謝しています。

ワチャラ・チャイプラコーン



出家休暇制度

会社独自の制度として、出家の際には、30日を限度として（うち15日は有給）休暇扱いとしています。

福利厚生

積立金制度

従業員と会社が毎月一定額を積み立て、退職時に受け取れる制度です。会社の積立金は勤続年数が長いほど多く受け取り、従業員のモチベーション向上を図っています。

福利厚生

2017年2月にISO19001認証を取得するなど、生産や安全に関する活動に積極的に取り組み、従業員のスキルアップをサポートしています。

自らのスキルアップで企業価値を向上

従業員のスキルアップを応援してくれる資格手当は、自己啓発や専門知識向上にとっても有効な制度です。業務に関係した自己啓発のための手当が支給されるので、スキルを高めることができます。今後は、取得した資格を使って、会社に貢献して企業価値向上に繋がれるように努めていきます。

劉明宝



資格取得を奨励

業務に関連する資格取得を奨励し、会社から手当を支給して従業員のスキルアップをサポートしています。

教育

育児時間の調整

産後1年間は毎日授乳休みとして育児に充てる時間を1時間設けていますが、希望者には一定期間まとめて取得することを可能にし、女性の就労と育児を支援しています。

福利厚生

中国国営企業との合資会社のため、福利厚生や教育制度などは充実しています。

応急訓練を実施

化学原料を扱う工場なので安全への取り組みはとても大事にしています。火災応急訓練では、盤錦市安全監督局や興隆区政府などが見学する中、全員参加で消火訓練や通報訓練、応急処置訓練などを行ない、火災事故予防と災害時の初期対応について再確認しました。今後も全従業員が安全についての意識を維持・向上できるように、努めていきます。

王俊海



安全教育の徹底

毎月工場内の監査を実施するなど安全に関しては徹底しており、従業員が安全で安心して働けるように安全教育が徹底されています。

教育

昼休みの延長

従業員のリフレッシュのため、昼休みは2時間に設定し、スポーツなどをして休憩時間を充実させています。

福利厚生

盤錦遼河綜研化学

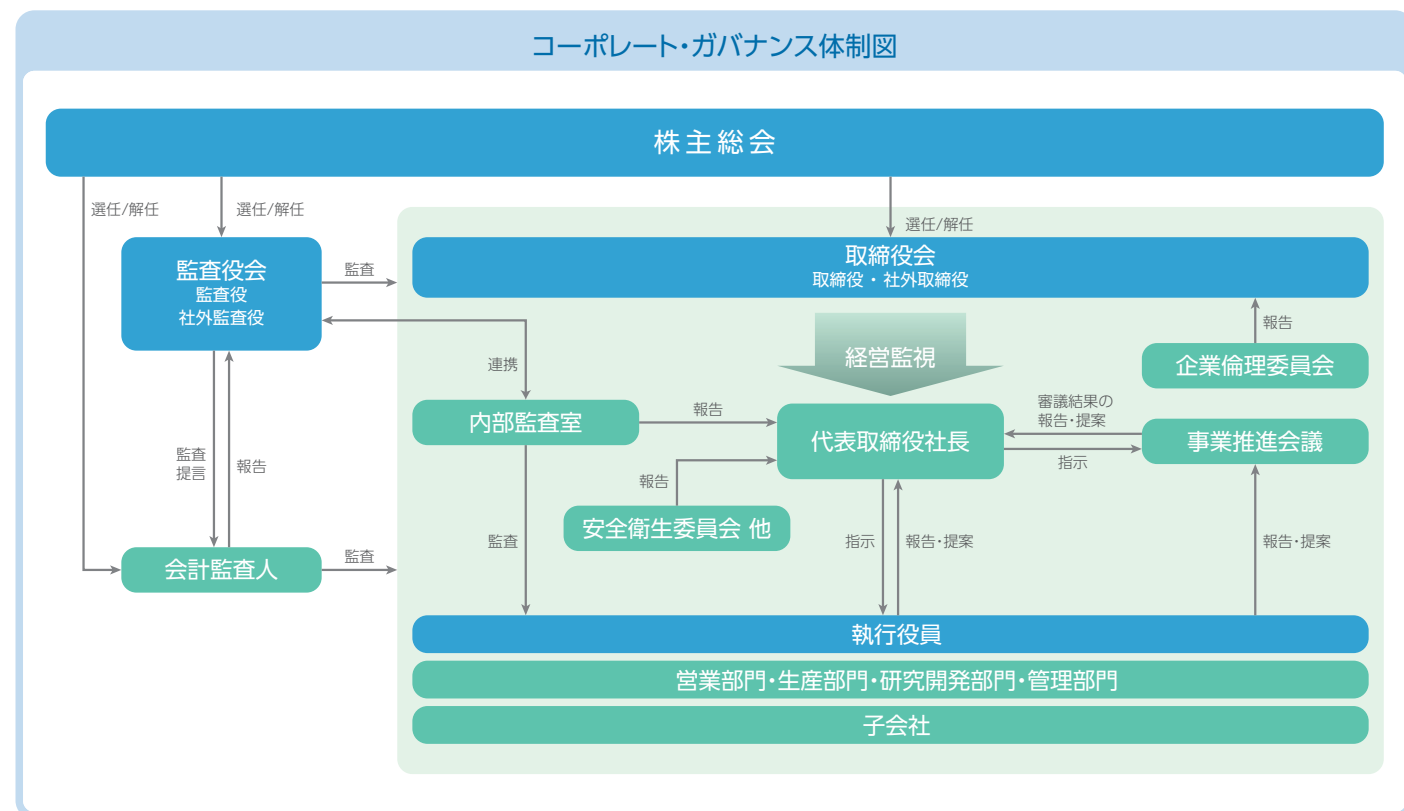
コーポレート・ガバナンス

当社グループは、適切な企業統治の推進・徹底を図ることにより、企業としての社会的責任を果たし、関係する皆さまから信頼していただけるよう努めていくという基本方針の下、必要となる体制やシステムを整備するとともに、その改善にも継続的に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は、社外取締役1名を含む6名で構成され、毎月開催する定例の取締役会において、法令で定められた事項および経営上の重要な事項の意思決定ならびに業務執行状況の報告を行なっています。また、執行役員制度を導入しており、取締役による経営の意思決定および監督機能と執行役員による業務執行機能を分離することで、経営の透明性・公正性を高めるとともに、業務執行の迅速性・効率性を確保しています。

監査役会は、常勤監査役1名、社外監査役2名を含む非常勤監査役3名で構成され、取締役会等の重要会議に出席し、必要に応じて意見を述べるとともに、業務監査などを通じて取締役の職務執行を監査しています。また、内部監査室および会計監査人と情報・意見交換を行なうなど必要な連携をとり、業務・内部統制監査の充実を図っています。



内部統制システム

コーポレート・ガバナンス強化のため、取締役会において「内部統制システム構築の基本方針」を決議し、業務の適正を確保するための体制の整備を進めるとともに、その進展や状況に応じて、必要な改定を行なっています。

この基本方針に則り、法令遵守体制の強化、リスクマネジメントの推進等に取り組む、業務の適正を確保するための体制構築に努めています。

内部統制システム構築の基本方針

1. 取締役および従業員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 取締役の職務の執行に関する情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 取締役の職務の執行が効率的に行なわれていることを確保するための体制
5. 当社およびその子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
6. 財務報告の信頼性を確保するための体制
7. 監査役の適正監査を確保するための体制
8. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項および使用人の取締役からの独立性に関する事項
9. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその体制整備状況

コンプライアンス

法令遵守体制の基礎として、「綜研化学倫理綱領」を定め、綜研化学倫理綱領ハンドブックなどにより、その遵守を図っています。

綜研化学倫理綱領

1. 法令を遵守し、社会的規範や良識に基づいて行動する。
2. 人格・人権を尊重し、不当な差別を排除する。
3. 国内外を問わず、その土地の文化や慣習を尊重し、地域との共存共栄に努める。
4. 安全確保と地球環境保全に積極的に取り組む。
5. あらゆる反社会的勢力からの不法・不当な要求には応じず、一切の関係を遮断する。

企業倫理委員会

コンプライアンスの徹底のため、企業倫理委員会を設置して四半期毎の定例委員会を開催し、日常的な法令遵守状況の定期的なチェックや改善のための提言を行ない、取締役会にその状況を報告しています。

内部通報・相談窓口

コンプライアンスに関する問題を早期に発見し、解決する自浄システムとして、「内部通報・相談窓口」を設け、法令違反の未然防止に努めています。

綜研化学倫理綱領ハンドブック

綜研化学倫理綱領について社員が理解を深め、意識向上を図るため、事例を交えて分かりやすく解説したハンドブックを作成し、いつでも社員が確認できるように社内イントラネットに掲示しています。2016年度は倫理綱領ガイドラインと事例集を統合し、よりわかりやすい内容に改定しました。



リスクマネジメント

当社グループでは、企業価値を損ねる可能性がある重要なリスクについて、適切な管理体制を整備するとともに、その運用・評価・改善に努めています。

なお、重大な危機が生じた場合には代表取締役社長を本部長とする対策本部を設置し、損失を最小限にとどめるよう努めます。

反社会的勢力排除に向けた対応

反社会的勢力との関係を根絶することを基本的な方針とし、綜研化学倫理綱領において「あらゆる反社会的勢力からの不法・不当な要求には応じず、一切の関係を遮断する。」と定めています。反社会的勢力

との関係根絶に関する社内教育や所管警察署、弁護士等の外部専門機関との連携など、反社会的勢力による被害防止を図る取り組みを進めています。

コーポレートガバナンスの詳細やその他の取り組みについては、当社ホームページでご紹介しています。

<http://www.soken-ce.co.jp/company/governance.html>

株主・投資家の皆さまとともに

当社グループは、経営理念に「株主の皆さまからの共感を実現していくこと」を定め、適時適切な企業情報開示で、信頼性と透明性の保持に努めています。

IR活動

経営の透明性を高め、企業としての説明責任を果たすため、各種IR活動や情報開示ツールを通じて株主・投資家の皆さまに情報をお届けしています。

ビジネスレポート

中間、期末の年2回、事業活動の概況をお届けしています。



ホームページ

迅速な情報開示に加え、展示会出展情報なども随時公開しています。



決算説明会

中間、期末の決算発表後に機関投資家、証券アナリストの皆さまを対象に説明会を開催しています。



株主懇談会

毎年定時株主総会後に、当社技術や製品を身近に感じていただけるよう、株主の皆さまとの懇談の場を設け、さまざまなご質問にもその場でお答えし、交流を深めています。



FACTBOOK

投資分析に必要な情報を掲載しています。



利益分配に関する基本方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要政策の一つと考え、事業拡大や技術革新に対応した設備・研究開発投資による収益性の向上、財務体質の強化を図りながら、配当水準の向上と安定化に努めることを基本方針とし

ています。2016年度の利益配当金につきましては、利益分配に関する基本方針に基づき、同期の業績結果を踏まえ、さらに株主の皆さまの日頃からのご支援にお応えするため、1株当たり45円(普通配当+特別配当)としました。

お客様・お取引先の皆さまとともに

当社グループは、お客様・お取引先の皆さまとの信頼関係を大切に、お客様にとっての「一番身近な存在」であり続けたいと考えています。また、お取引先の皆さまとは、「相互発展に向けた良い関係」を築いていけるよう努めています。

お客様へ確かな信頼をお届けするために

お客様の期待に応える魅力ある製品とサービスの提供を実現するため、品質方針を定め、品質マネジメントシステムを構築して革新的な製品開発と安全で安定した品質を確保しています。

また、お客様・お取引先の皆さまとのコミュニケーションを図るため、展示会出展や製品・サービス説明会などを開催しています。

品質方針

1. 顧客満足の絶えざる向上を目指し、品質マネジメントシステムの実践とその有効性を継続的に点検し、顧客の期待に応える魅力ある製品とサービスを提供します。
2. 法令・規制要求事項の遵守は当然のこととして、顧客の品質に対する要求事項を満たすことが、顧客からの信頼を確保する上で重要であるとの認識を社内に徹底します。
3. 品質方針と整合した品質目標を設定し、その見直しを含めた目標管理の仕組みを作り、実践します。

ISO9001認証取得状況

当社グループでは、国内の生産拠点(ケミカルズ部門)においてISO9001の認証を取得しており、品質マネジメントシステムの構築と継続的な改善を行なっています。



国内・海外の展示会へ出展

新規事業製品の紹介や、既存製品の機能拡大などのPRを中心に、国内・海外の展示会へ積極的に出展しています。来場者の方々とさまざまな情報交換を行ない、交流を深めています。



国内展示会(エヌプラス)



PCHI2017広州

製品・サービス説明会開催

お取引先の皆さまとのより近い関係作りと横断的な製品紹介を目的として、綜研化学・綜研テクニクス 製品・サービス説明会を開催しました。



担当者よりひと言

お取引先の皆さまと交流を深め、当社グループの事業やサービス、取り組んでいる研究開発テーマを幅広く知っていただくことを目的に開催しました。初めての試みで運営面に反省点もありましたが、多くの来場者をお迎えすることができ、懇親会では活発な質疑がなされていたことを鑑みると、目的は達せられたと思います。今後も形式を変えて、さまざまな切り口でお取引先の皆さまと当社グループの橋渡しになる企画を立案していきます。



市場調査部長
吉野 雄二郎

従業員とともに

当社グループは、経営理念に定める「働く喜び」を実現するため、全従業員が働きやすい職場環境の実現を目指して、さまざまな支援制度を設けています。

従業員の健康と安全のために

産業医による講演

産業医による講演を定期的に行い、従業員の健康への意識を高めています。2016年度は「生活習慣病3大疾病について」をテーマに開催し、従業員自ら生活習慣の改善に取り組めるようサポートしています。



産業医講演

ストレスチェックと国内全事業所でのカウンセリング

当社グループでは法令に先んじて2012年からストレスチェックを年に1回実施しています。また、全事業所に専門のカウンセラーを配置し、従業員の心の健康をサポートしています。

安全衛生管理体制

国内全事業所で安全衛生委員会による安全パトロールや新たに扱う化学物質のリスクアセスメントなど、各職場に応じて労働安全衛生向上に取り組んでいます。

従業員を支える制度

各種研修制度

従業員の能力開発を支援し、さらなるスキルアップをサポートするため、さまざまな人材育成制度を導入しています。「新入社員研修」をはじめとした「階層別研修」のほか、「技術安全研修」や「専門教育」、語学の自己啓発をサポートするために外部講師を招いた「語学研修」などを行なっています。



中国語基礎研修

表彰制度

組織の活性化や従業員のモチベーション維持向上を目的として、日々の業務への取り組みや成果など、模範となる活動を称える表彰制度を導入しています。毎年創立記念日である9月2日に永年勤続者とともに表彰を行なっています。



ブラザー・シスター制度

社会人1年目をサポートするため、先輩社員をブラザー・シスターとして任命し、相談に乗ったりアドバイスを行なったりしています。



ブラザー・シスター制度は社内コミュニケーションを円滑にする良いきっかけを作ってくれました。これからさまざまなことに興味を持って、新人らしくたくさん挑戦をしてください。

(左)経営管理部 経理G 吉田 英徳

仕事以外にも社会人としての心構えやマナーも教えていただき、とても心強かったです。2年目からは私も先輩として後輩たちの見本になれるように頑張ります。

(右)経営管理部 経理G 大藤 智也

社内クラブ活動(綜和会)

従業員同士のコミュニケーションをより活発にするために、社内クラブ活動をサポートしています。



浜岡サッカー部

スキー部

ワークライフバランスの推進

仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現を目指し、総労働時間の削減や、育児・介護支援制度の拡充など、従業員が働きやすい環境づくりに努めています。

次世代育成支援

厚生労働省が定める次世代育成支援対策推進法に基づいて、次世代育成支援のための行動計画を立て、実行しています。2011年8月から取り組んでいる次世代育成支援のための行動計画は第3期を迎え、総労働時間削減や有給休暇取得促進を中心に仕事と家庭の両立を支援しています。

次世代育成支援のための行動計画(第3期) (2015年12月1日~2017年11月30日)

目 標

効率的な仕事、付加価値の高い仕事への改善で総労働時間を削減する

達成目標 総労働時間 年1,800時間

子を持つ、または要介護者を持つ社員が働きやすい職場環境を作る

目標達成に向けた対策(例)

- ① 残業が多い部門への取り組み検討
- ② 定時退社日実施回数と退社時間の見直し
- ③ 有給奨励日や計画有給の導入など

- ① 育児・介護に対する制度や取り組み等をまとめた資料の作成、配布
- ② 介護と仕事の両立について外部セミナーを企画・実施

第1期から取り組んできた、月2回の定時退社日や看護休暇の制度は定着し、総労働時間は徐々に削減できています。引き続き、最終目標である“総労働時間1,800時間”達成に向けて、上記の対策を実施し、職場環境の改善とすべての従業員が「働く喜び」を実現できるように取り組んでいます。

女性活躍推進

2016年4月1日より、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が施行され、自社の女性の活躍に関する状況把握・課題分析、その課題を解決するのにふさわしい数値目標と取り組みを盛り込んだ行動計画の策定・届出・周知・公表をすることが義務付けられました。当社グループは以前より、女性従業員を含むすべての従業員にとって働きやすい職場風土の醸成に取り組んできましたが、この法律に基づき、次のとおり当社の行動計画を策定しました。

女性活躍推進のための行動計画 (2016年4月1日~2018年3月31日)

5年後、管理職に占める女性の割合を10%以上とすることを目標とする

達成目標 管理職に占める女性の割合 10%以上

同法律にある企業の課題分析結果により、当社グループは女性の管理職比率が低いことが大きな課題と捉え、「管理職に占める女性の割合の向上」を目標に、将来管理職候補となる従業員の就業意欲向上に繋がるよう、すべての従業員を対象とした働き方の改革を進めていきます。

育児休業取得者の声

2016年6月に長男を出産し、育児休業を経て2017年4月に復職しました。不安はありましたが、周りの方々が温かく声をかけてくださり、安心して休業・復職することができました。現在は育児短時間勤務制度を利用しています。保育園の送迎や息子の世話、家事など、時短勤務でなければこなせないと感じる部分が多く、とてもありがたく感じます。また、時間に制約があるため、業務の効率化・標準化についても見直す良い機会になりました。今後は、仕事と育児の両立ができる環境に感謝し、どちらも精一杯頑張りたいと思います。

総務人事部 人事G 秋田 知世



地域の皆さまとともに

当社グループは、社会的責任を果たすための社会貢献と事業所が所在する地域との積極的な交流に努め、社会との共生を図るため、さまざまな活動を行なっています。

地域交流・ボランティア活動

地域交流を兼ねたボランティア活動やイベントに積極的に参加しています。



狭山市の七夕祭りで清掃ボランティア



ハローワーク掛川が主催する高校生に向けた企業説明会に参加



御前崎市の園児に川とふれあう機会を提供するため、めだかを配布する活動に参加

インターンシップの受け入れ

当社での就業体験を通して、社会や仕事について理解を深めるとともに、自身のキャリアについて考える機会としていただくため、インターンシップを受け入れています。

インターンシップを終えて

今回のインターンシップでは、社内の安全対策が特に印象に残りました。研修の最初に行なわれた安全教育では、工場内の歩き方や確認の際に行なう指差し確認などを学ぶことができました。実験を行なう際には、チェックシートを使って始業・終業の点検をしっかりと行なうことや、安全に作業ができるように深く考えられた実験方法など、大学では経験できないことをさせていただきました。安全面を通して、企業で働くことをより深く知ることができました。貴重な体験をさせていただきましたありがとうございました。



九州工業大学
黒岩 祐介さん

防災訓練

緊急・災害時の対策として、各事業所で自衛消防隊を組織しています。防災訓練では地元消防署の指導を仰ぎ、避難経路および初期消火手順の確認と、実際の消火訓練も行なっています。危険物施設を持つ狭山事業所と浜岡事業所では、年2回(春・秋)実施しています。

社会参加促進への取り組み

前年度に引き続き、今年度もナノインプリント製品部で使用されるノベルティの封入を目白福祉作業所に依頼しました。取り扱いが難しい製品ですが、作業の方々には「やりがいを感じました」とのお言葉をいただきました。今後も社会参加促進の一助となるよう、相互の発展に向けて努めていきます。



作業中の様子

消防団との協力

浜岡事業所では、御前崎市および近隣の牧之原市の消防団協力事業所認定を受けており、緊急時に、消防団所属の従業員は、地元消防活動を優先できるようにしています。

また、狭山事業所では、近隣の皆さまが地震などで被害を受け、避難が必要になった場合に、建物の一部を避難所として提供できるように整備しています。

地元消防団活動に参加して

地元を火災や水害から守るため、災害発生時は昼夜問わず出動します。また、地域の防災訓練では町内の人たちに消火器の使い方や、注意喚起などの火災予防活動を行なうことで住民の皆さまが安心して暮らせる地域づくりを行なっています。



樹脂生産部 樹脂生産工場 浜岡1G 1T
池田 将太

牧之原市消防団に入って4年目になります。月に2回訓練を行ない、迅速な消火活動ができるように日々備えています。入団当初は覚えることが多く大変でしたが、地域の方と交流もできて楽しいこともあります。今後、地域貢献のために入団者数が増えることを期待しています。



樹脂生産部 樹脂生産工場 浜岡1G 1T
福水 拓弥

環境負荷低減のために

当社グループは、経営理念に「環境保全を指向しつつ社会に役立つ革新的製品を提供すること」を定め、以下に示す環境方針に則り、自主的、積極的に環境負荷低減を目指した企業活動に取り組んでいます。

環境方針

綜研化学グループは、独創的な研究開発・技術を追求する研究開発型企業として、粘着剤、微粉体、特殊機能材等の高性能ケミカルズ、それを応用した加工製品および装置関連事業

等の事業領域で、環境保護を指向した製品を開発し、生産・販売活動に努めます。社員一人ひとりが地球環境に配慮した企業活動を行い、環境保護に努め、社会に貢献します。

基本方針

1. 全員参加のもとに環境保護活動(汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性及び生態系の保護)を進め、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. 関連する法令等の要求事項の遵守義務を満たすとともに、高い倫理観と良識をもって社会的責任を果たします。

行動指針

1. 事業活動や製品が環境に与える影響を評価し、環境改善の目的および目標の設定と、見直しを含め環境改善を進めます。
2. 省エネルギー活動を主体とした「地球温暖化防止」と3R(リデュース、リユース、リサイクル)による「資源の循環」に取り組みます。
3. 化学物質による汚染の予防など、環境リスクの低減に努めます。
4. 環境にやさしい製品の開発に努めます。

2017年 3月 6日
綜研化学株式会社

環境単年度計画

2005年に策定した第一次環境中期計画以来、3ヵ年計画により環境保全活動を推進してきましたが、2015年度より各部門の事業計画に基づき活動できるように単年度計画に変更し、環境配慮型製品の売上高比率向上などに取り組んでいます。

2016年度環境目標と実績

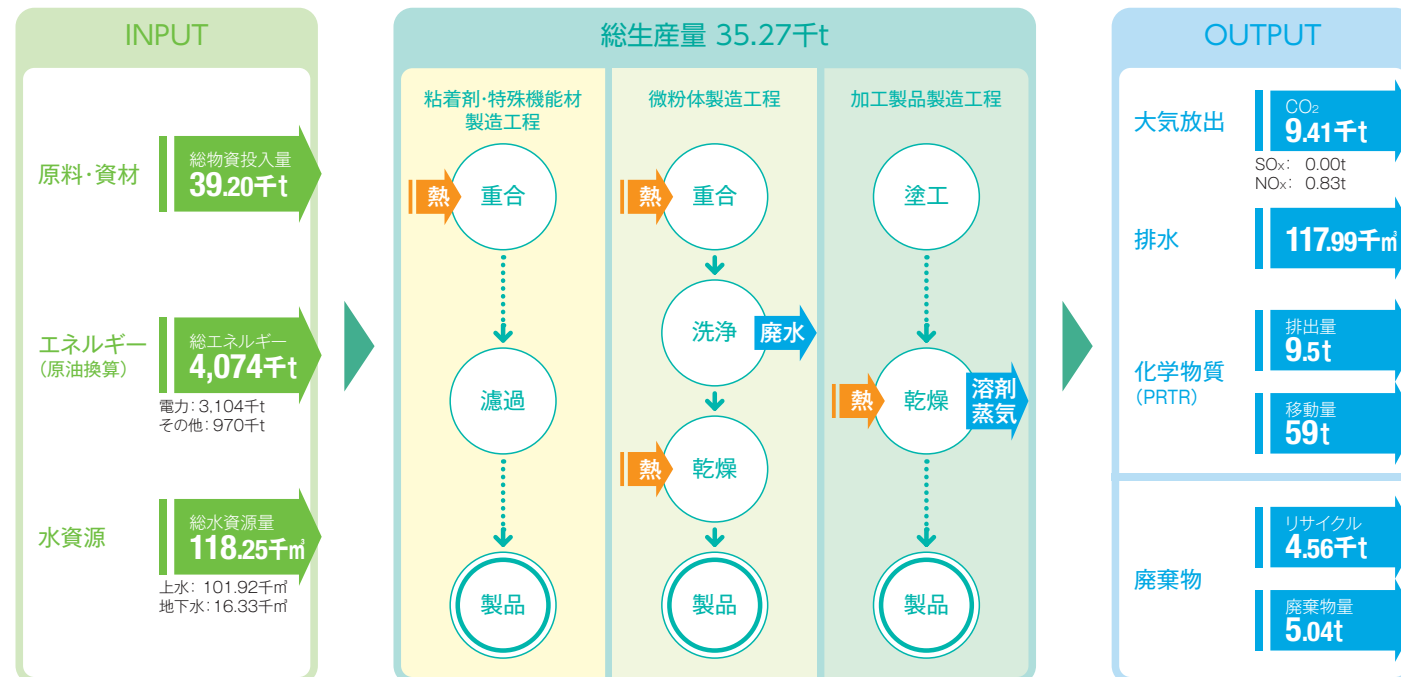
	目 標	2016年度実績	評 価	
環境配慮型製品 売上高比率向上の推進	売上高比率 15.5%	売上高比率 16.2%	○	
地球温暖化防止の推進	(1) 粘着剤製品・特殊機能材製品	環境効率 ^{※1} 8.85	環境効率 8.64	×
	(2) 微粉体製品	環境効率 0.20	環境効率 0.19	×
	(3) 加工製品	環境効率 0.21	環境効率 0.43	○
	(4) 非生産部門	CO ₂ 排出量 2,090t	CO ₂ 排出量 2,225t	×
化学物質による汚染防止 および環境リスクの低減	① 廃棄物量削減、再資源化対策の実施 ② 臭気・揮発性有機化合物(VOC)発生源対策の実施	● 排水減量設備によるE型排水の削減(狭山) ● 洗浄溶剤リサイクル実施(浜岡、狭山) ● 新規洗浄溶剤使用量削減(浜岡)	○	

※1 環境効率
当社グループの環境効率の指標 環境効率 = $\frac{\text{生産高} \cdots \text{グループ内生産量 (単位t)}}{\text{生産時の環境負荷} \cdots \text{CO}_2\text{排出量 (単位tCO}_2\text{)}}$

単年度計画の重要課題3項目のうち、「地球温暖化防止の推進」において粘着剤製品・特殊機能材製品、微粉体製品の環境効率と非生産部門のCO₂排出量は設備稼働によるエネルギー使用量の増加により、目標は未達となりました。しかし、その他の項目については概ね目標を達成しました。これらの結果を踏まえ、引き続き環境配慮型製品の販売促進とエネルギー使用量の削減に取り組み、環境に配慮した企業活動を一層推進していきます。

マテリアルフロー

当社グループの企業活動および生産活動のために投入したすべての原材料、エネルギー、水資源 (INPUT) に対して、製品の生産量、排出物、リサイクル量など (OUTPUT) から環境負荷を把握し、より効率的な生産活動によってさらなる資源の有効活用に取り組みます。



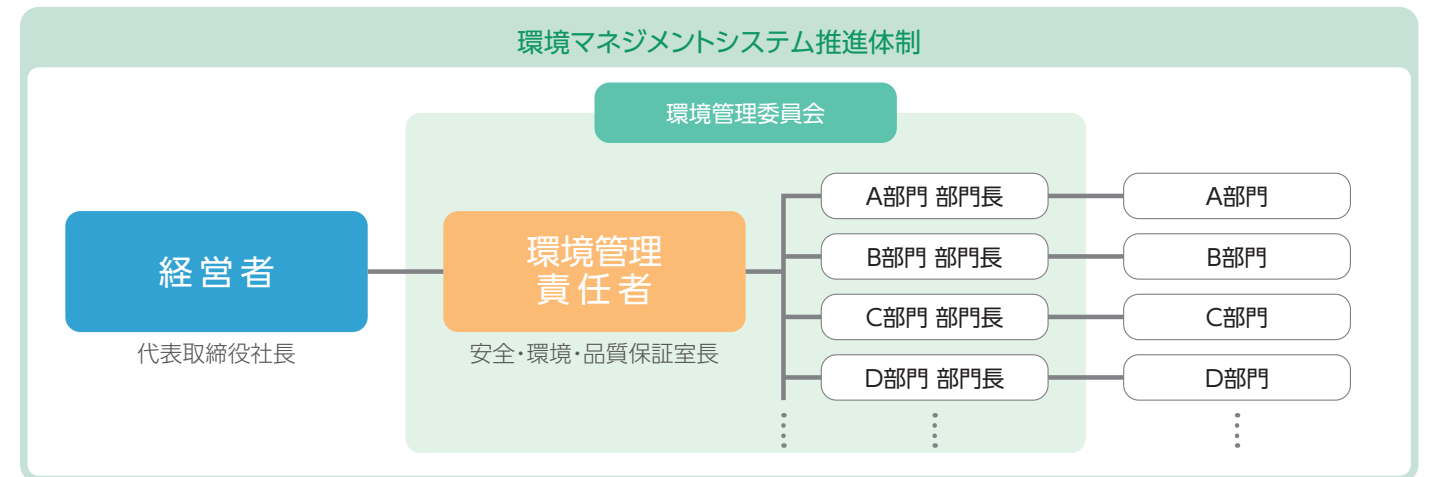
環境マネジメントシステム

当社グループの環境マネジメントシステムへの取り組みは、2002年3月の狭山事業所での認証取得から始まり、2003年2月からは本社・浜岡事業所に拡大し、事業活動における環境負荷低減を目的とした活動に取り組んでいます。

環境マネジメントシステムの推進体制

これまでは、国内事業拠点である本社・狭山・浜岡事業所を活動単位としたサイト制でしたが、2015年度から推進体制を職制に基づく体制に変更し、規格改訂で追加された要求事項である「組織の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合」に合致するようにしました。

環境マネジメントシステム全体の管理は、経営者の社長から任命された環境管理責任者が行ない、各職制の長が活動の方向性を定め、環境保全活動を推進しています。



環境マネジメントシステムの認証

2017年2月に外部機関の審査を受け、認証が更新されました。また、ISO14001の規格が改訂になったことを受け、これに対応すべくマニュアル改訂などの準備を進めています。

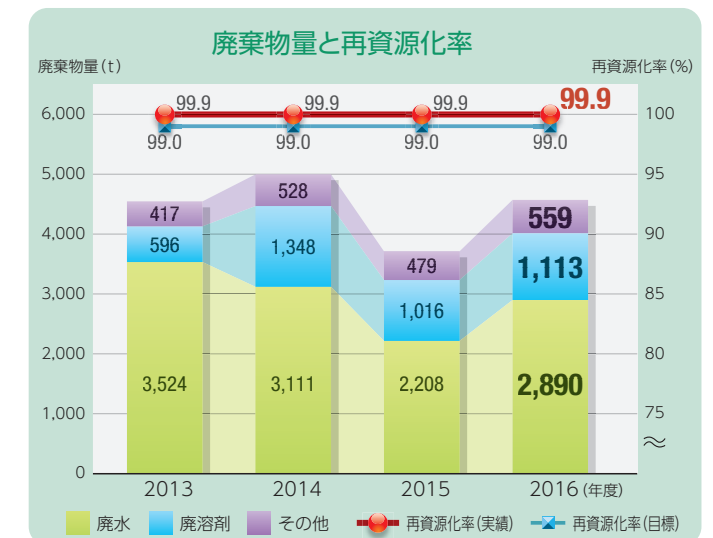


廃棄物削減・資源循環の推進

2009年度に達成したゼロエミッション^{※2}を2016年度も継続しています。廃棄物の再資源化率は2010年度から引き続き99.9%を維持しています。

廃棄物の総発生量は2015年度より23%増加しました。これは微粉体製品生産において、廃水の発生割合が高い製品の生産量が増加したこと、また狭山事業所での粘着剤製品生産時の洗浄回数増加が主な原因です。今後、生産工程での工夫をはかるなど廃棄物の総発生量の削減に取り組んでいきます。

※2 ゼロエミッション
当社グループでは、「事業活動で生じた全廃棄物のうち、最終的に埋立処分となる廃棄物量を1%以下とすること」と定めています。



環境苦情 (総発生件数 0件)

2016年度は、環境に関する苦情はありませんでした。今後も近隣住民の皆さま、お客様、お取引先の皆さま、行政等と連携を取りながら環境保全活動に努めていきます。

環境不適合^{※1} (総発生件数 3件: 浜岡事業所3件)

2016年度は、浜岡事業所にて環境に関する不適合が3件発生しました。それぞれ関係する行政機関と協議の上、適切に対応し、原因究明と対策の実施により再発防止に努めています。

※1 環境不適合
環境マネジメントシステムで定めたルールに適合できていない状態を指します。

環境配慮型製品売上高比率向上の推進

製品の生産工程および使用時における環境負荷低減を企図した、環境配慮型製品^{※1}の開発と提供に取り組んでいます。2016年度は全製品中の売上高比率15.5%を目標に活動し、販売拡大などによって目標を達成しました。

各製品の環境配慮方法例

粘着剤

SKダイナ[®](シロップタイプ・エマルジョンタイプなど)

溶剤不要のものや水に分散したものと、有機溶剤使用量削減を実現します。

特殊機能材

トルエンフリーサーモラック[®]、アクトフロー[®]

有機溶剤であるトルエンを含まない、または有機溶剤を一切使用しないので環境負荷を軽減します。

微粉体

ケミスノー[®](MP・MZシリーズ)

独自の製造方法により、生産中の水の使用量を削減します。

加工製品

JETテープ[®]

無溶剤型の粘着剤を使用しているため、人体や環境への影響を抑えられます。

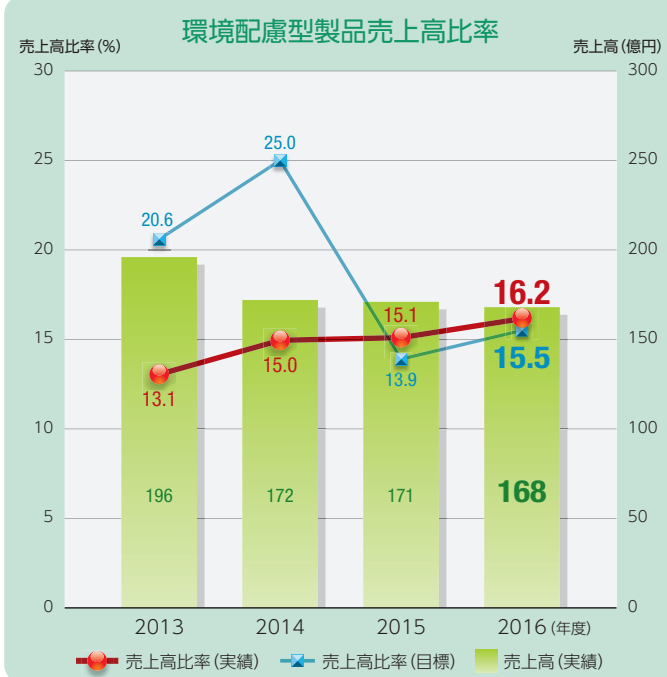
装置・システム

熱媒ヒーター

熱媒ヒーターの燃料にガスを使用し、CO₂排出量を削減します。

☆有機溶剤とは

物質を溶かすために用いられる有機物の液体です。一般的に揮発性が高く、大量に放出されると地球温暖化や大気汚染の原因となるほか、シックハウス症候群などの健康被害を引き起こす原因とされています。



※1 環境配慮型製品

地球温暖化防止、化学物質による汚染防止、環境リスク低減、資源循環、自然エネルギー・非枯渇資源の活用など地球環境の保全と社会の持続的発展に貢献する一連の製品群です。

化学物質による汚染防止および環境リスクの低減

各事業所周辺の環境に配慮しながら安全な事業活動を継続するために、関連法規等の遵守に加え、管理対象となる化学物質を適切に取り扱うことで大気中への放出を抑制しています。また、事業活動に伴い発生する騒音、振動を抑制するための対策を実施し、以下の環境リスク対策に取り組んでいます。

PRTR対象物質

PRTR制度(化学物質排出移動量届出制度)に基づき、対象物質の排出量の削減に取り組んでいます。2016年度は、排出量9.5t(2015年度10.3t)、移動量59t(同48t)となり、移動量は生産量の増加により約23%の増加となりましたが、排出量は前年度より削減できました。

PCB含有廃棄物の処理

PCB含有廃棄物について「PCB特別措置法」に基づき適正に管理してきましたが、2016年度に狭山事業所で保管していた廃棄物の処理を終了し、これですべての事業所のPCB含有廃棄物の処理を完了しました。

VOC(揮発性有機化合物)臭気対策

生産工程などにおいて使用する有機溶剤や原料による臭気漏えい、大気汚染を防ぐため、VOC発生源の遮断、脱臭設備の増強などの対策を進めています。2016年度は、新たな設備導入は行いませんでしたが、2015年度に引き続き定期的に臭気測定を実施し、臭気の発生抑制に努めています。

騒音・振動対策

法的基準値以下の維持継続のため、騒音発生源の遮蔽による緩和、騒音発生作業の見直しなどを行なっています。2015年度に引き続き、狭山事業所北側の敷地境界線の騒音測定を実施し、基準値以下であることを確認しています。また、工事の実施前には環境影響評価を行ない、必要な予防措置を実施しています。

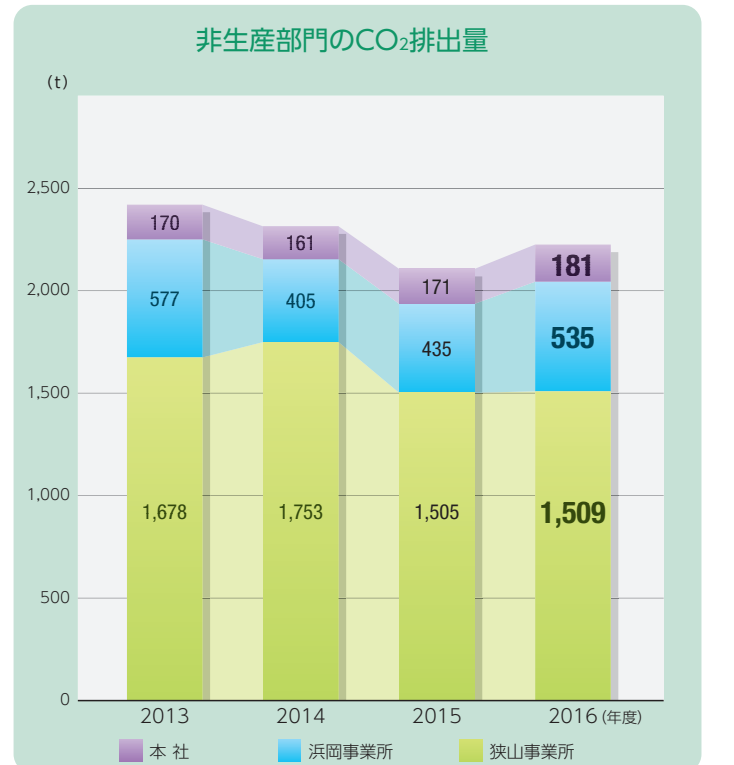
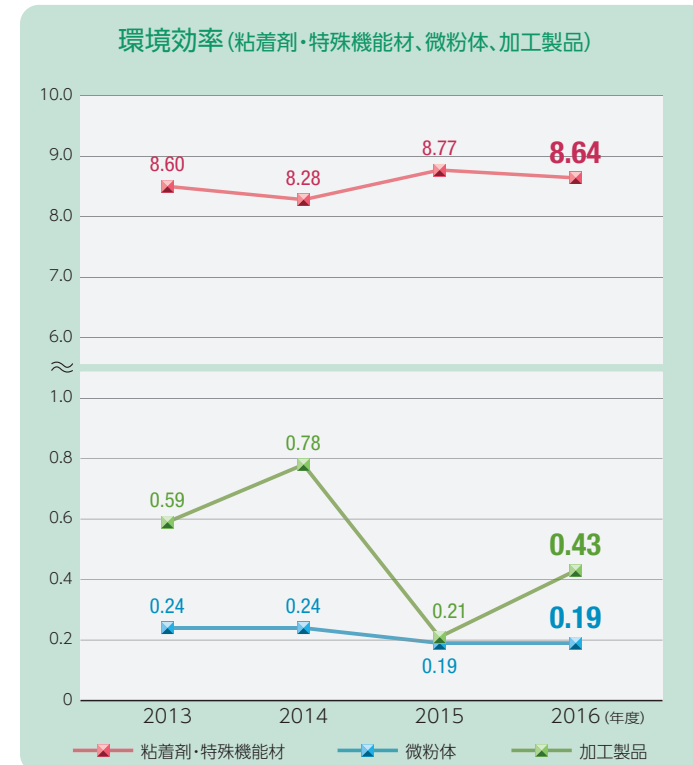
地球温暖化防止の推進

設備の運用管理や更新等により、CO₂排出量の削減など、地球温暖化防止活動を推進しています。評価指標として、生産部門では、製品分野ごとの環境効率(生産量/生産に関わるCO₂排出量)で、直接生産に関わらない非生産部門では、CO₂排出量で評価しています。

環境効率とCO₂排出量

粘着剤製品・機能材製品は生産量が減少、微粉体製品は設備の稼働率が上がりCO₂排出量が増加したため、環境効率は低下しました。また、非生産部門では浜岡事業所の熱媒体油再生設備の稼働により、

CO₂排出量は増加しました。今後、生産工程の見直しや設備の効率的な稼働に努め、環境効率向上とCO₂排出量削減に向けて取り組んでいきます。

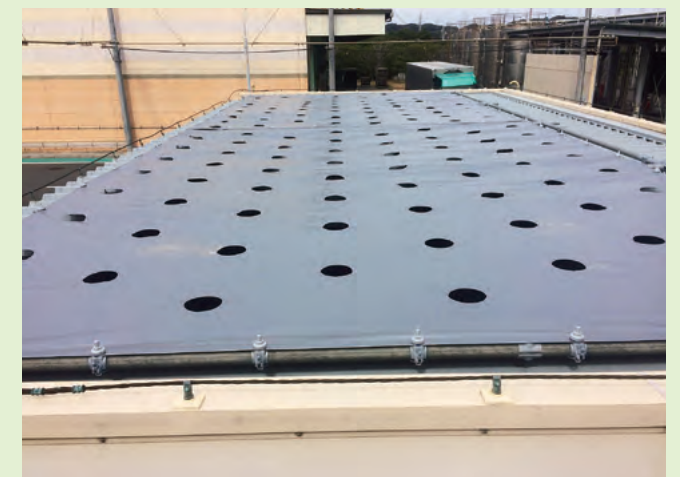


2016年度の取り組み事例

浜岡事業所の危険物倉庫の屋根に遮熱シートを施工しました。これにより、夏場の倉庫屋根の温度上昇が抑えられ、エアコンの電気使用量が削減できる見込みです。



総研テクニクス
設備管理部 浜岡設備T
横山秀行



倉庫の遮熱シート

事業所データ

狭山事業所

狭山事業所は、周囲を住宅に囲まれる環境に立地していることから、周辺地域の皆さまに安心感を持っていただける事業所運営が求められています。このため、安全には細心の注意を払うことはもちろん、騒音・臭気対策においても同様に重要視して取り組んでいます。加えて、2015年度からエネルギー管理指定工場となったこともあり、エネルギー使用量の削減に努めてきましたが、同時に進めてきました廃棄物排出量削減のための装置稼働に多量のエネルギーを要した結果、残念ながら事業所全体のエネルギー使用量は増加してしまいました。

これまで実績を挙げてきた諸施策の継続もさることながら、エネルギー使用量の削減が今後の大きな課題となっています。

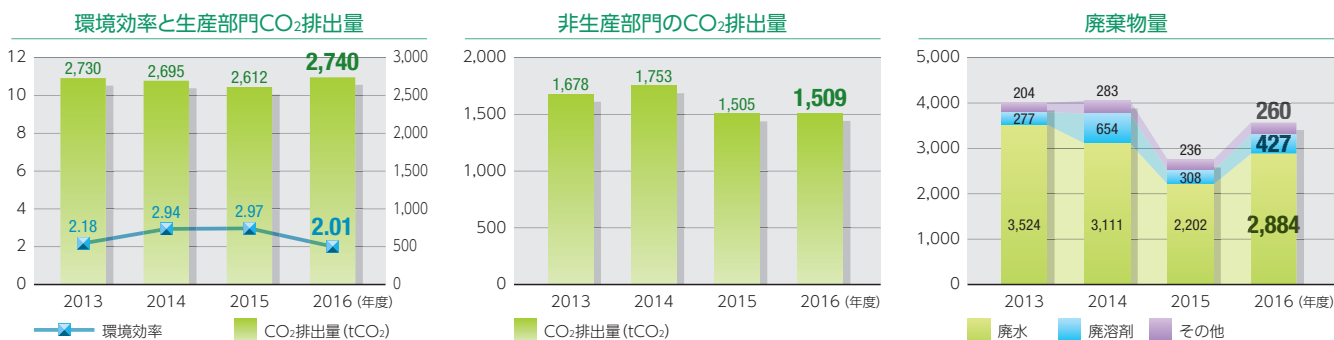


狭山事業所全景写真



取締役 執行役員 安全・環境・品質保証、技術・安全研修センター担当 総務人事部長(兼) 狭山事業所長(兼) 浜岡事業所長 泉浦 伸行

- 事業所設置：1961年
- 敷地面積：28,795㎡
- 所在地：埼玉県狭山市広瀬東一丁目13番1号
- 主な事業内容：粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品の開発、製造



浜岡事業所

浜岡事業所は、量産工場・物流拠点としての役割を担い、お客様に高品質な粘着剤・特殊機能材を提供しています。2016年度は資源循環、省エネへの取り組みとして、少量・多品種の生産を行なっているプラントの洗浄方法を変更し、洗浄溶剤の汚染度軽減に努めるとともに、全プラント反応缶の汚れ軽減対策を実践し、薬液洗浄回数を前年比21%削減することで29.13MWhの省エネを実現しました。その他、2015年度に引き続き、老朽化したポンプの高効率化、工場内照明のLED化、倉庫屋根の遮熱化を実施しました。今後も資源循環、省エネルギーを推進し、環境にやさしい事業所を目指します。

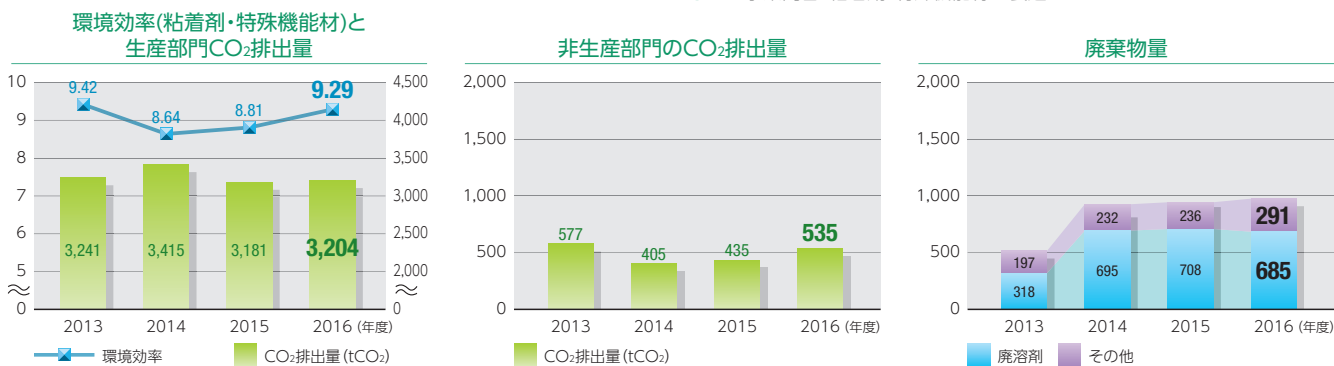


浜岡事業所全景



樹脂生産部 樹脂生産工場長 近藤 秀明

- 事業所設置：1992年
- 46,869㎡
- 所在地：静岡県御前崎市池新田8665番1号
- 主な事業内容：粘着剤、特殊機能材の製造



サイトレポート

綜研化学グループのCSR活動についてご紹介します。

※従業員数は2017年3月31日現在



寧波綜研化学有限公司

所在地：中国浙江省寧波市大榭開發区榭西工業区東湖路7号
従業員：291名
生産・販売品目：アクリル系粘着剤・粘着テープ



大気中への排出が制限されているVOCを管理するため、LDAR検査修復システムを導入しました。定期的に配管やパッキンなど漏えいの可能性がある箇所を点検し、異常が発見された箇所を迅速に修理することでVOCの排出を削減・抑制します。今後も、設備の保守・保全に努め、効率の良い生産と環境負荷低減に積極的に取り組んでいきます。

綜研化学アジア株式会社

所在地：Amata Nakorn Industrial Estate, 700/699 Moo.1 T. Phanthong, A.Phanthong Chonburi Province 20160, Thailand
従業員：59名
生産・販売品目：アクリル系粘着剤・粘着テープ



環境配慮型製品の開発、販売に積極的に取り組んでいます。特に、VOC発生量を低減した粘着テープは、製造工程の工夫により高品質と環境負荷低減を実現しており、お客様からご好評をいただいています。ASEAN地域で高まっている環境保全へのニーズに対応するため、さらなるラインアップ拡充に努めていきます。

綜研テクニクス株式会社

所在地：東京都豊島区高田三丁目29番5号
従業員：52名
生産・販売品目：熱媒体・熱媒ボイラー・プラントエンジニアリング・メンテナンス



当社グループで数多くの実績があるケミカルズ製品のプラントや熱媒技術のノウハウを活かして、環境に優しい装置の開発に注力しています。特に溶剤回収装置は、廃溶剤を再生するだけでなく、省エネルギーかつ安全に運転ができるので、人にも環境にも優しい装置です。将来的に多様な溶剤にも対応できるよう開発を進めていきます。

綜研化学(蘇州)有限公司

所在地：中国江蘇省蘇州市工業園区星龍街271号
従業員：141名
生産・販売品目：アクリル系粘着剤・機能性高分子・有機微粒子



2015年度に導入した排気ガス処理設備と排水処理設備が本格的に移動し、工場から排出されていた有機ガスと排水を大幅に削減しました。また、微粉体生産工場の集塵設備の改造、樹脂工場操作室の見直しを行ない、安全で作業のしやすい環境づくりにも取り組んでいます。今後もより一層環境と安全に配慮した活動を推進していきます。

綜研高新材料(南京)有限公司

所在地：中国江蘇省南京市六合区南京化学工業園区崇福路300号
従業員：67名
生産・販売品目：アクリル系粘着剤・機能性高分子



「安全第一、予防主要、総合整備」をスローガンとし、ヒヤリハット・KYT等の安全活動を通じて、作業一つひとつのリスクを意識し、無災害労働日数を継続しています。環境面では雨水、汚水、有機溶剤大気放出濃度の日常監視と、COD値の低減、廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。

盤錦遼河綜研化学有限公司 ※持分法適用関連会社

所在地：中国遼寧省盤錦市興隆台区工業開發区
従業員：69名
生産・販売品目：熱媒体



従業員の生活支援を目的に、会社の幹部たちが家庭で使用していない家電や余った食糧などを贈る支援活動を行なっています。また総経理が体調不良で休んでいる従業員を見舞うなど、生活上の支援だけでなくコミュニケーション強化にも取り組んでいます。今後も従業員と会社がともに支え合い、発展できるように努めていきます。